



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日
上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社
コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）河本 大輔
問合せ先責任者 （役職名）取締役常務執行役員 （氏名）大戸 章浩 TEL 084-923-5552
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	6,686	0.1	469	55.9	439	37.3	311	76.9
2026年3月期第1四半期	6,681	7.6	300	△3.5	319	△6.3	176	△4.6

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 383百万円（268.2％） 2026年3月期第1四半期 104百万円（△60.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	25.27	-
2026年3月期第1四半期	14.32	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	26,001	8,172	31.4	662.46
2026年3月期	24,145	7,936	32.9	643.39

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 8,172百万円 2026年3月期 7,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	-	10.00	-	12.00	22.00
2027年3月期	-				
2027年3月期（予想）		12.00	-	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	27,000	6.3	1,150	7.3	1,500	5.7	1,000	9.9	81.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 3社 (社名) 有限会社日東ベンディング中国、株式会社フジタ商事、大熊乳業株式会社
除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	13,495,248株	2026年3月期	13,495,248株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,159,218株	2026年3月期	1,159,218株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	12,336,030株	2026年3月期1Q	12,308,430株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の産業において諸外国との通商政策による影響は改善基調にあるものの、継続的な食料品価格の上昇、円安による輸入物価の上昇等のわが国の景気を下押しするリスクは解消していません。また、2026年2月末にイスラエル・アメリカとイランの間で勃発した戦闘により、エネルギー資源の価格が高騰するなど、世界情勢は一層不確実性を増しております。

この環境下において、当社グループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 ― すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて、ブランド創造企業への挑戦を最優先課題とすると同時に、既存事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化と諸施策を中心として成長の加速に取り組んでいます。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,686百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益469百万円（同55.9%増）、経常利益439百万円（同37.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益311百万円（同76.9%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

(自販機運営リテイル事業)

自販機運営リテイル事業におきましては、食料品の相次ぐ値上げが消費者の節約志向に影響を与え、自販機離れを加速させ、更なる業界再編の機運が高まっています。そのような環境下当社グループでは、設置条件の改善や不採算機の引揚、M&Aによるシナジー効果の創造などを行い、利益率の改善に向けて引き続き取り組みを続け、業界再編の受け皿となる収益基盤の拡充に注力しています。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は3,452百万円（前年同四半期比2.3%減）と小幅減収となりましたが、セグメント利益は44百万円（同17.2%増）と増益を継続しております。

なお、4月に株式を取得した有限会社日東ベンディング中国、同じく6月に取得した株式会社フジタ商事並びに大熊乳業株式会社につきましては、当第1四半期連結累計期間においては四半期貸借対照表のみ連結しております。

(飲料製造事業)

飲料製造事業におきましては、酒類・清涼飲料の製造数量が増加し、経営成績は前年同四半期の利益を大きく上回る水準まで回復いたしました。一方、前年度好調であった茶葉加工事業については国産茶葉高騰の影響を受け、当四半期の業績はやや軟調に推移いたしました。また、中長期での最重要事項に位置づける自社ブランド商品の拡販については、新商品の投入、プロモーション活動を積極的にを行い、マーケティング・販売戦略を強化することで経営成績への寄与度を少しずつ高めています。

こうした取り組みもあり、6月にはイギリス・ロンドンで開催された世界各国のプレミックス飲料（RTD）を対象とした、国際的な品評会「World Premix Awards (WPA)」Speciality Cocktail 部門において、自社ブランド商品の「アスター 福島もも」が世界最高賞を日本企業として初受賞いたしました。

この結果、飲料製造事業の売上高は3,130百万円（前年同四半期比3.0%増）、セグメント利益は492百万円（同48.2%増）となりました。

(不動産運用事業)

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート株式会社を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は34百万円（前年同四半期比0.4%減）、セグメント利益は55百万円（同1.2%増）となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高63百万円を含めると98百万円となります。

(その他事業)

その他事業におきましては、東西の物流部門を強化すると共に、グループ内物流の内製化を進めており、徐々にその効果は経営成績への寄与につながっています。

この結果、その他事業の売上高は68百万円（前年同四半期比6.1%減）、セグメント利益は17百万円（同3.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は26,001百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,856百万円増加いたしました。これは受取手形、売掛金及び契約資産の増加255百万円、商品及び製品の増加253百万円及び土地の増加345百万円等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は17,829百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,620百万円増加いたしました。これは買掛金の増加612百万円及び未払金の増加431百万円等によるものです。

(純資産)

第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8,172百万円となり、前連結会計年度末に比べ235百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加311百万円、剰余金の配当による減少148百万円及びその他有価証券評価差額金の増加48百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は31.4%（前連結会計年度末は32.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月13日「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,835	3,794
受取手形、売掛金及び契約資産	4,119	4,375
商品及び製品	990	1,243
原材料及び貯蔵品	397	399
前払費用	169	189
その他	626	749
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,139	10,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,751	2,770
機械装置及び運搬具（純額）	2,545	2,758
工具、器具及び備品（純額）	51	130
土地	3,883	4,228
リース資産（純額）	243	239
建設仮勘定	1,228	1,621
有形固定資産合計	10,704	11,749
無形固定資産		
のれん	75	183
ソフトウェア	36	35
リース資産	8	6
その他	28	28
無形固定資産合計	148	252
投資その他の資産		
投資有価証券	2,477	2,498
長期前払費用	114	101
繰延税金資産	210	217
その他	396	476
貸倒引当金	△45	△44
投資その他の資産合計	3,153	3,249
固定資産合計	14,006	15,251
資産合計	24,145	26,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,233	3,846
短期借入金	3,040	3,420
1年内返済予定の長期借入金	1,685	1,773
リース債務	87	112
未払金	844	1,276
未払法人税等	292	172
未払消費税等	296	190
賞与引当金	219	352
その他	783	983
流動負債合計	10,483	12,128
固定負債		
長期借入金	5,177	5,132
リース債務	178	205
再評価に係る繰延税金負債	35	35
退職給付に係る負債	2	19
その他	331	307
固定負債合計	5,725	5,700
負債合計	16,208	17,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,040	1,040
利益剰余金	6,726	6,890
自己株式	△604	△604
株主資本合計	7,960	8,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177	226
土地再評価差額金	△364	△364
為替換算調整勘定	162	185
その他の包括利益累計額合計	△24	47
純資産合計	7,936	8,172
負債純資産合計	24,145	26,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,681	6,686
売上原価	4,183	4,033
売上総利益	2,498	2,653
販売費及び一般管理費	2,197	2,184
営業利益	300	469
営業外収益		
受取配当金	6	8
持分法による投資利益	8	—
その他	30	20
営業外収益合計	44	28
営業外費用		
支払利息	13	30
持分法による投資損失	—	19
その他	11	8
営業外費用合計	25	58
経常利益	319	439
特別利益		
固定資産売却益	—	37
特別利益合計	—	37
特別損失		
固定資産除却損	13	—
特別損失合計	13	—
税金等調整前四半期純利益	306	476
法人税、住民税及び事業税	161	172
法人税等調整額	△30	△7
法人税等合計	130	164
四半期純利益	176	311
親会社株主に帰属する四半期純利益	176	311

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	176	311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	48
持分法適用会社に対する持分相当額	△74	23
その他の包括利益合計	△72	71
四半期包括利益	104	383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104	383

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)
連結の範囲の変更

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるアシード株式会社が新たに有限会社日東ベンディング中国、株式会社フジタ商事、大熊乳業株式会社の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	212百万円	201百万円
のれんの償却額	5	3

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,535	3,037	35	73	6,681	—	6,681
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	33	60	39	134	△134	—
計	3,536	3,071	95	113	6,816	△134	6,681
セグメント利益	37	332	55	17	442	△141	300

(注) 1. セグメント利益の調整額△141百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,452	3,130	34	68	6,686	—	6,686
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	26	63	59	150	△150	—
計	3,454	3,157	98	128	6,837	△150	6,686
セグメント利益	44	492	55	17	610	△141	469

- (注) 1. セグメント利益の調整額△141百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他事業は倉庫・物流事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

2026年4月1日に有限会社日東ベンディング中国、2026年6月19日に株式会社フジタ商事、大熊乳業株式会社の3社の株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、のれんが111百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。